

広報なすしおばら

NASUSHIOBARA Newsletter

10 / 5

October 2017 No.307

特集

大地の恵みをつむぐ人

いま、農業を考える



市では目の不自由な人のために音訳版広報を発行しています。詳しくはシティプロモーション課までご連絡ください。

那須野が原の優良な農地を守りたい

担い手の確保に向けて

農業に若い担い手が少なくなってきた主な理由として3つが考えられます。

まず、規模が大きくない農家では、所得が低いというのが就農を阻む大きな要因。私の周りでも、子どもに農業を継がせられないというのはよく耳にします。先祖から受け継いだ農地は守りたいけれど、子どもには会社に入って安定した収入を得てほしいという人が多いのです。

2つ目は、新たに就農する人に比べ、親のあとを継いで就農する子どもに対する支援が限定的だということ。農家は労働力が増えるのだから、その分の収入も増やしたいと考えます。親元での新規就農に対する支援が充実すれば、規模拡大しやすくなり、結果として収入が増え、就農しやすくなると思います。

そして3つ目は、農家の「昔ながらのしきたり」です。具体的には、家族で得た農業収入が各個人へどのように配分されるのか不透明だということ。自分が自由に使えるお金が明確に分からないのは、若い人に窮屈さを感じさせてしまうでしょう。

今後、若い担い手を確保するためには、安定収入を得るための支援策や、家族間でも会社のように所得や就農時間などを取り決める家族経営協定を結ぶことが農業参入を促すきっかけになるのではないかと考えています。



君島 良一氏 市農業委員会会長

農地を守り、後世に残したい

農業ができなくなってしまった人にとっても、農地をどう管理していくかが大きな課題です。代々受け継がれた農地は農家にとって大切なもので、農業ができなくなったからと言って簡単に手放すこともできません。

そこで、農業委員会では今年から農業委員に加え、農地利用最適化推進委員を新設しました。各推進委員は地域全体の農地に目を向け、農業の衰退を食い止める役目を担います。

農業是那須塩原の基幹産業。だから、農業が衰退し、農地が荒れ果ててしまったら、このまちがなくなるのと一緒にではないでしょうか。そうならないためにも、農地を守り、将来に引き継ぐことが農業委員会の使命だと思っています。



いま、農業を考える。

大地の恵みを つむぐ人

下大貫地区を上空から見た美しい田園風景。就農者が減り続ければこの景色も見られなくなってしまうかもしれない。

新たな農業委員会の体制がはじまります

これまで活動してきた「農業委員」に加えて、地域と密着して農地の最適な利用を進める「農地利用最適化推進委員」を新設し農業委員会が新体制に。農業の発展のため、双方が連携しながら活動をしていきます。

4つの基本的な役割

1. 農地の確保と有効利用
2. 農地などの利用最適化
3. 農業の担い手育成・確保
4. 農業者などの声を行政に反映

農業委員

最高議決機関である総会で次の事項を審議

- ・農地転用の許可
- ・農地などの権利移動の許可
- ・農地利用集積計画の決定
- ・農業委員会における活動目標、計画の策定・点検・評価など

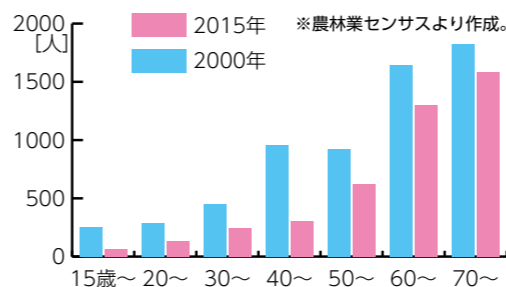
連携

農地利用最適化推進委員

担当区域にて現場活動を行います。

- 1 担い手への農地利用の集積・集約化
地域における担い手への集積・集約化に向けた話し合いの場を作る
- 2 遊休農地の発生防止・解消
地域の農地の状況を把握し、遊休農地の発生防止・解消活動を促進する
- 3 新規参入
地域への新規就農や企業の参入の受け入れ態勢をつくる

本市の年齢別就農人口の変化



人の手が加えられない農地は、あっという間に植物の根が広がり、荒廃が進み、再生にも手間がかかる。

厳しい農業の現実

稲作を中心に営まれてきた日本の農業。しかしながら、パンや麺類など私たちの食事は多様性を増し、米の消費量は年々減少しています。米の消費量減少に伴い、国では生産を制限する減反政策を導入。中小規模の農家は稲作だけで生計を立てていくことが難しくなりました。

化が加速。本市の就農人口は減少の一途を辿っています。また、担い手の不足に伴い問題となるのが、耕作されない遊休農地の増加。手が加えられない農地は荒れ果て、病害虫や有害鳥獣の被害増加を招きます。遊休農地の発生は、その農地に限った問題ではなく地域全体の環境に影響を及ぼします。遊休農地の発生を未然に防ぎ、そして再生させるための努力が必要です。

私たちの毎日に欠かせない食事。それらを作り出す農業について、考える機会はどれだけあるのでしょうか。どこで・誰が・どのように作っているか、農家はどのような生活を送っているのか…。我々の食卓を支える農業が今、大きな課題に直面しています。

食を守るの最前線

本市には、さまざまな課題に向き合いながらも懸命に農業に取り組み農家さんがいます。彼らには農業を元気にするヒントが隠れているかもしれません。



手間ひまかけた野菜を守りたい、だから狩猟という手段を選ぶ

「農作物の栽培に自分の生活がかかっていることや、子どもたちの安全面を確保するためにやむなく駆除を行っています。今でも生き物を駆除するのは心苦しく、できるなら共存が望ましいと思っています」と引き金を引くときの心の葛藤を語ってくれました。

また、市村さんが所属する猟友会塩原支部は20人ほどメンバーがいて、平均年齢は70歳前後で全員が男性。その中で市村さんは最年少にして唯一の女性です。しかし、市村さんが狩猟を始めたことが周りの同年代にも波及し始めているそう。「現在狩猟免許取得にむけて動いている人が複数いて、近いうちに若い男性や女性ハンターも誕生する予定です」とメンバーが増えるのを心待ちにしているようでした。

鳥獣被害から大切な作物を守るために

丹精込めて育てた農作物が野生動物に食べられて、今までの苦労が水の泡…。何ともやりきれないことです。このような鳥獣被害をなくすために、市ではさまざまな取り組みをしています。

- ◆防除柵設置費用の助成
農作物を野生動物から守るための電気柵などを設置する費用を一部補助。
- ◆狩猟免許取得費用の助成
鳥獣被害を減らすためには、必要に応じて駆除することも。新たにハンターになるための費用を一部補助。

- ◆鳥獣管理士を地域に派遣
鳥獣被害対策の専門家を無料で皆さんの住む地域に派遣。被害軽減に向けての効果的なアドバイスがもらえます。
- ▶問い合わせ
☎農林整備課 ☎0287(62)7148

Case2 鳥獣との共存を模索 農産物を守る女性ハンター

市村 さやか さん
市村農園で塩原高原大根の栽培を行う傍ら、首都圏に向けた販路拡大にも力をいれている。

深刻さを増す鳥獣被害
「電気柵やわなの設置を行っていましたが、シカの繁殖スピードがあまりに早く、それだけでは対策が間に合わないので、3年前に狩猟免許の取得を決意しました。そう語る市村さんは、16年前の結婚を機に農業に携わるようになり、高冷地の特性を生かし、塩原高原大根を栽培。嫁いだ当初、有害鳥獣による農作物の被害は収穫量全体の1割程度。しかし、シ

カの頭数が増えるにつれて年々被害も深刻になり、近年は4割ほどが被害を受けることもあるそうです。有害鳥獣への対策は、専業農家の市村さんにとって生計に直結する喫緊の課題でした。

狩猟を始めたことでの変化
狩猟を始めたことで、有害鳥獣への対抗手段が1つ増やせたため、少しずつ被害は減ってきていると言います。「他地域の猟友会にも人脈ができました。狩猟だけ



収穫された大根はすべて手作業で丁寧に洗われる。

Case1 大規模稲作で 地域を支える農業士

佐藤 友幸 さん
妻と長男夫婦の4人で稲作と畜産を営む専業農家。昨年度、県農業士に認定された。



農地を守り、地域の農業を支えたい

農地借り受け地域支える
「農地を貸し出す側の農家さんにとって、先祖代々守ってきた土地を他の人に貸すというのは少なからず抵抗があるでしょう」。そう思うからこそ、佐藤

農地貸借制度を活用して
20年ほど前から後継者のいない農家の農地を借り受け、規模を大きくしながら米を栽培している佐藤さん。年々借りる農地の数は増えていて、全てを合わせると自分が所有する土地のなんと4倍にもなるそう。

「農業公社が複数の農家さんから借り受ける場合でも、契約などの手続きをまとめてしてくれるので助かります」。現在、10軒以上の農家から借り受けているそうです。

稲作をするには、規模が大きくても小さくても必要な農機具は同じであるため、大規模にすることで収益にも結び付いて稲作が続けられると言います。



自らが所有するコンバインで、すべての農地を1か月かけて刈り上げる。

さんは他の農家の土地を借りる際には丁寧な交渉を心掛けています。

「後継ぎがいなくて困っている農家さんの力になれるのは、やはり嬉しい」と話し、貸し手の農家から感謝をされることも多く、やりがいを感じるそう。

6年前からは息子の優樹さんも農業に従事し、「今まで守ってきた農地を息子にも引き継いでいきたい。これからは身体が続く限り、稲作を続けたい」。そう語る佐藤さんの表情からは、このまわりの農業を支えたいという強い気持ちが伝わってきました。

農業公社を介した農地貸借の流れ





Case4 農業の未来を担う 酪農家を志す高校生

那須拓陽高校 牛部

このまちの酪農の未来を託された彼女たちは、希望に満ちあふれていた。

牛の可愛さ、魅力をもっと知ってほしい

酪農でも後継者不足が問題視されるなか、県立那須拓陽高校では次世代の担い手育成が行われています。同校は1945年に県立那須農学校として開校。本市の生乳生産本州一を人材育成において大きく支えています。

そんな那須拓陽高校には、全国的にも珍しい「牛部」という部活があるのです。農業以外の学科の生徒にも酪農にふれてもらいたいと10年前に乳牛和牛研究

会として創設。4年前に牛部として格上げされました。現在は19人の部員が在籍していて、活動は月曜以外の平日の放課後と土日の午前中を基本に行っています。同校が所有する乃木農場では乳牛・和牛合わせて60頭以上を飼育。生徒たちの活動は、まさに酪農家そのもので、エサをあげたり、搾乳をしたり、牛舎を清掃したりと多岐にわたります。牛部では毎日が真剣勝負。少しでも気を抜いて世話が疎かになれば牛がケガをしたり、病気にかかったりしてしまいます。また、命懸けで行われる出産では、死に遭遇することもあるそう。生徒たちは、牛の「生と死」に間近で触れながら命の大切さを学んでいるのです。

牛部の部員に、将来の夢を聞きました

最初は牛が怖いと思っていたけど、今では可愛くて仕方ないです。毎日世話をしていると、顔を覚えて懐いてくれるのが嬉しいです。牛の体調管理や繁殖など専門的に学びたいので、卒業後は酪農関係の大学に進学予定です。



手塚 奈津美さん(3年)



安田 未来さん(3年)

力仕事や排泄物の掃除など大変なこともありますが、楽しいことのほうが多いです。なにかに落ち込んでも元気をくれるのは牛たちで、また頑張ろうと思えます。将来も牛と触れ合える仕事がしたいと思っています。



大きな牛で800キロを超える。共進会で姿勢よく歩けるよう歩行訓練を行う。



生徒たちが一頭一頭搾乳器をつけていく。



数種類の飼料を混ぜて、牛が食べやすいように口元まで運んで与える。

Case3 両親の思いを引き継いで 農業を始めた若き後継者

菊池 太輔 さん

両親と共に菊池いちご園を営む。全く別の業種から農業の世界へ飛び込んだ。



質の高いイチゴを作り、
広く知ってもらいたい

ガラリと変わった農業の印象

東日本大震災を機に、地元に戻って農業を継ぐことを決意し、2012年の5月から就農した菊池さん。「両親がとちおとめを育てていましたが、せっかく後を継ぐなら、新しいことにも挑戦したい」と思い、夏秋どりイチゴなつおとめ「の栽培を始めました」と話します。

「就農する前は、農業は少し古臭いイメージで、知識や技術をあまり必要としない仕事だと思っていました」そう語る菊池さんは、農業をはじめ、そのイメージが大きく変わったそう。

一口に高い品質と言っても、味・色・ツヤ・形など基準が多岐にわたり、これらが総合的に評価されて市場での価値が決まります。就農後、菊池さんは市場で高い評価を得るためには、絶え間なく研究を重ね、科学的根拠に基づいた栽培が必要だと知り、驚いたとのこと。

究をしているそうです。農業の先輩である両親にアドバイスをもらいながら、状況に応じて作業を自分で決め、進めていけることに農業のやりがいを感じるそうです。

農業の広がる可能性

「これからの農業は作物を作るだけでなく、自分の作ったものを広く知ってもらい、買ってもらうための努力が必要だと考えています」と語る菊池さんの眼差しには強い気持ちが表れていました。

「とちおとめ・なつおとめは県内では知られた品種でも、全国の市場で見ると各地域でさまざまな品種が研究開発され、競争も厳しくなってきました」と外部への発信の重要性を訴えます。

なつおとめは洋菓子店など業務用の販売がメイン。しかし、東京で開催される展示会にも出展し、全国に向けたPRを積極的に行っているそうです。

温度管理されたハウスでは真っ赤ななつおとめが実る。



新たな独立・自営就農者を応援しています ～農業次世代人材投資事業(経営開始型)～

せっかく農業を始めても、経営が軌道に乗るまでは資金面での苦勞がつきもの。本市では、国の補助制度を活用し45歳未満の新たな独立・自営就農者に対して、就農直後(5年以内)の経営資金の一部を援助しています。

この農業次世代人材投資事業で援助を受けるためには、親元に就農して後を継ぐだけでは対象になりません。新た

な作物を取り入れるなど、何か新しいことにチャレンジすることが必要です。

しかし、「親の後を継ぐため」に就農する人も多いのが事実。農家の跡継ぎたちに対する支援策も早急に考えていく必要があります。

▶問い合わせ 農務畜産課 ☎0287(62)7147



新たな まちづくりへの挑戦

農業がもたらしてくれる自然の恵み。生乳生産本州一のまちという地域の強み。それらを活かしたまちづくりが進められ、その原動力には、次代を担う若者たちがいる。



ヒンヤリとした冷気が牛乳のコクを引き立てる 牛乳蛇口 ミルクバー

那須清峰高校

蛇口をひねれば牛乳が出てくるミルクバー。今年の4月から生徒有志5人が製作を進めてきた。「夏の暑い時期に冷たくて美味しい牛乳を提供するにはどうしたら良いだろう」。試行錯誤の末に導き出した答えは、冷水を流すチューブ付きの銅板を容器に巻き付け冷却する方法。これにより約4時間、容器内を5℃に保てるようになった。イベント当日は、多くの来場者が蛇口を捻って出てくる冷たい牛乳をゴクゴク。



青いチューブ内を冷水が流れ、銅板を通じて容器を冷やす
部品の加工や容器への取り付けなどを生徒たちが行った

9月2日記念イベント 若者たちの舞台裏

那須農業高校を前身とする「那須拓陽高校」と那須工業高校を前身とする「那須清峰高校」。それぞれの強みを活かして、まちづくりに参画している若者たちがいる。イベントを迎えるまでの彼らの軌跡をここで紹介する。



さっぱりとした後味に ほのかな生乳のコクが人気 オリジナル乳酸菌飲料 拓陽キスミル

那須拓陽高校

3年前から那須拓陽高校と共同で開発を進めてきたオリジナル乳製品。さまざまな苦労を重ね、「拓陽キスミル」は誕生した。拓陽高校で搾った生乳に合う乳酸菌を数種の菌から抜粋し、これまで学んだ技術を生かし加工・製造を行った。今年度はラベルも一新し、女子高生らしいポップなデザインが好評。加工・製造・商品として仕上げることで、生乳という素材に付加価値を生み出す。この取り組みは、市にまちづくりの今後の可能性を示唆してくれる。「拓陽キスミル」は、明治の森・黒磯で店頭販売しているほか、10月15日の畜産フェアでも販売予定。



キスミル作りの感想を拓陽高校生に聞きました

平山 さくらさん(3年)

原材料から製品化までの過程を学び、どのような素材で作られるのかを知ったことで、食べ物の有難みを感じるようになりました。

渡辺 美雪さん(3年)

最近「キスミル飲んだよ」と多くの人から言ってもらえるようになったので嬉しいです。このまちの特産の牛乳を活かした製品をもっと広めたいです。

木村 日香さん(2年)

那須塩原市は生乳の生産が本州一なので、新鮮な素材を使って製品を作ることができるというのが大きな強みだと思います。

キスミル購入者に試飲の感想を聞きました

北條 いくみさん
ことのちゃん 温大くん

お友達の家で飲んだことがあり、美味しかったので今回購入してみました。子どもたちと飲みたいと思います。

手塚 洋子さん

今回初めてキスミルを知りました。試飲で甘酒のような味がして美味しかったので買ってみました。高校生が作ったんですね。すごいですね。

生乳生産本州一のまちづくりにチャレンジしてみませんか

自治会や市民団体、企業、NPOなどによる生乳生産本州一の生乳や酪農を生かしたまちづくり活動の一部経費を支援します。

- ▶対象事業 (年度内に完了するもの)
 - ・牛乳乳製品の消費拡大
 - ・独自の乳製品の研究開発
 - ・牛乳乳製品の新たな販路開拓など
- ▶上限金額 1団体10万円
- ▶対象 自治会、市民団体、企業、NPOなど
- ※ 予定団体数に達し次第終了。
- ▶申し込み・問い合わせ
☎農務畜産課 ☎ 0287(62)7149

地域イベントに乾杯用牛乳を提供します

牛乳の消費拡大のきっかけづくりとして、自治会やコミュニティ組織で開催するイベントに牛乳を提供します

- ▶対象事業 市内で開催されるイベントや会合などで牛乳で乾杯を行う場合
- ▶提供回数 1団体1回
- ※ 人数は300人まで。1人あたり100ml
- ▶対象 自治会、コミュニティ組織
- ▶申し込み・問い合わせ
☎農務畜産課 ☎ 0287(62)7149



塩原温泉郷最大のイベント 塩原温泉まつり

6台の山車が まちを練り歩く

塩原温泉郷において、1年のうちで一番まちがにぎやかになる2日間は今年もやってきた。

9月10日から11日にかけて開催された塩原温泉まつり。今年も、この日のために数カ月かけて丹精込めて作成された自慢の山車が温泉街の6地区からまちに練り出した。

軽快なお囃子を奏でながら日が暮れるまで温泉街を練り歩く。大人も子どもも一緒になって山車を引くが、山岳地のため、常に坂道に悩まされる。しかし、山車を引く人々には常に笑顔があふれていた。

このまつりが終わると、錦秋の季節はもう目の前だ。



↑ はたおり 畑下地区



↑ 門前地区



古町地区



塩釜地区



↑ 中塩原地区

那須野の大地の 恵みをいただく

実りの秋。市内各地で農業の収穫祭が開かれます。那須塩原に住む私たちは、農家の人たちが丹精込めて作った野菜や肉がいつでも手に入ります。それは、当たり前に見えて、実は非常に恵まれたことではないでしょうか。農家さんの努力があってこそ堪能できる自然の恵み。農業には課題もあります。でも、課題に向き合いながら元気に農業をしている農家さんにもたくさんいらっしゃるのです。食欲の秋を楽しみながら、農業の未来を一緒に考えてみませんか。

◆産直イベント情報



那須塩原西口産直所

- ▶ 営業時間 午前8時30分～午後4時
- ▶ ところ 前弥六51
- ▶ 休業日 毎週火曜
- ▶ 問い合わせ ☎(65)3443

10月22日(日)に那珂川河畔運動公園で開催される那須野巻狩まつりにて、2.2mの大将鍋を提供。地元の野菜をふんだんに使った鍋をぜひご賞味あれ。



そすいの郷 直売センター

- ▶ 営業時間 午前9時～午後4時
- ▶ ところ 三区町656-2
- ▶ 休業日 1月1～6日
- ▶ 問い合わせ ☎(37)7768

11月19日(日)午前8時～そばを楽しむ食育体験を開催。粉ひきやそば刈、脱穀、そば打ち体験など家族で楽しめる。参加費は1人1000円で、定員は10家族40人。募集は11月1日開始となる。



アグリパル塩原

- ▶ 営業時間 午前9時～午後5時
※12～2月は午後4時まで
- ▶ ところ 関谷442
- ▶ 休業日 1月1日、臨時休業有
- ▶ 問い合わせ ☎(35)4401

11月5日(日)午前10時～"新そば"の振る舞いが目玉の「秋の大収穫祭」を開催。関谷子供囃子公演や那須拓陽高校アイス作り体験、小豆拾いゲームなど各種催しも楽しみのひとつ。



道の駅「明治の森・黒磯」 ファームマーケット

- ▶ 営業時間 午前8時30分～午後5時30分
※11～2月は午後4時30分まで
- ▶ ところ 青木27
- ▶ 休業日 月曜、1月1～3日
- ▶ 問い合わせ ☎(63)0399

10月29日(日)午前9時～さつまいも収穫体験付きの「田園ウォーキング」を開催(※10月20日まで申込受け付け中)。また、11月12日(日)午前9時～産直鍋無料配布など秋の収穫祭も行われる。

畜産イベント情報

県畜産酪農研究センター公開デー

体験ブースも多数用意しています。お子さんと一緒に畜産に親しみませんか。

- ▶ とき 10月14日(土) 午前9時30分～午後3時
- ▶ ところ 県畜産酪農研究センター(千本松298)
- ▶ 内容 子牛ふれあい牧場、獣医さん体験、研究紹介 堆肥の無料配布、チーズやアイス作り体験など
- ▶ その他 県酪農フェア、ホルスタイン共進会も同時開催
- ▶ 問い合わせ

○県畜産酪農研究センター ☎(36)0230

畜産研究部門公開デー

那須野が原の豊かな大地に育まれた畜産物を味わいましょう。

- ▶ とき 10月21日(土) 午前10時～午後3時
- ▶ ところ 畜産研究部門 畜産飼料研究拠点(千本松768)
- ▶ 内容 牛肉試食、バター作り体験、顕微鏡観察教室 研究紹介、農業機械展示、ミニ講演会など
- ▶ 問い合わせ

○国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 ☎(37)7005



↑越堀の永井さんが手がける田んぼアート。➡➡中野さんによる西漣沢の田んぼアートはとてもカラフルで、10種類の稲が使用されているとのこと

実りの秋 収穫を迎える田んぼの中に・・・ ～市内各地の田んぼアート～

気温が低く、晴れた日が少なかった今年の夏。8月の日照時間はなんと55.6時間で、昨年よりも約90時間も短かったということです。そんな厳しい環境にも耐え、市内各地の田んぼは黄金色に輝き、ドライブが気持ちの良い季節となりました。車を走らせているとふと目に入ってきた、田んぼの「どすこい」の文字。隣の力士のキャラクターも可愛らしく、自然と微笑んでしまいます。他にも各地の田んぼアートが収穫を待つばかりです。



↑➡➡黒・白・黄金色の穂。葉の色も品種によってさまざま。これらの品種を複雑に組み合わせるとカラフルな絵が描かれる



時代を超えて受け継がれる開拓の歴史 ～劇団なすの 公演～

かつて水の無い荒野であったこの土地に移り住み、苦難を乗り越えながら土地を切り開いた名もなき多くの先人たちの物語。平成12年に結成され、現在は総勢50人の劇団員が集う「市民劇団なすの」による創作劇「那須野の大地」が9月17日、三島ホールにて披露されました。

昼の部・夜の部ともほぼ満員の観客は、笑いあり・涙ありの劇を観ながら、今から100年以上前の情景に思いを馳せていました。



身の回りの“もったいない”を集めて ～黒磯駅前もったいない市～

9月10日、歩行者天国の黒磯駅前通りで第10回目の「もったいない市」が開催。天候にも恵まれ、多くの人でにぎわいました。身の回りにはモノがあふれる現在。まだ使えるにもかかわらず、捨てられてしまうモノの数々。そんな「もったいない」を集めて、使いたい人へと橋渡しをする本イベントには、一昔前の思い出の品々が並びました。昔はどこ家庭にもあった黒電話も久しぶりの目見え。なお、写真の黒電話はまだ使えるようです。



“いざ”という時のために ～防災訓練～

毎年、日本のどこかで大雨や地震などの災害が発生しています。自然災害を防ぐことは困難ですが、万が一災害に遭遇してしまったときに備えて日頃から準備をしておくことは大切なことです。

9月3日に那珂川河畔運動公園で市総合防災訓練が開催され、市内の自主防災会をはじめ、消防団や建設業協会など多くの関係機関が参加し、簡易担架を使用した救助訓練などを行いました。また、市との協定に基づき、県北地区タクシー協議会から車両が提供され、初期パトロールを行う訓練も行われました。



↑被害状況を確認するためのパトロールにタクシーも協力



↑県防災ヘリコプターも飛来して訓練に参加



↑総合訓練の翌週には黒磯婦人防火クラブ連絡協議会による防火防災訓練が黒磯公園で開催され、参加者たちは初期消火や応急手当訓練を体験しました



歴史ある舞を奉納 ～塩原平家獅子舞～

県の無形民俗文化財に指定されている「塩原平家獅子舞」は、古くは平清盛が一族の繁栄などを願って奉納したものが元と言われ、那須地区内でも最も旧態を保っている獅子舞です。9月9日に塩原八幡宮例大祭で安全祈願や五穀豊穡を祈願し、平庭・巻よせ・弓くぐりの3形式で舞が奉納されました。舞の見どころは最後に舞う弓くぐり。太鼓の音に合わせて、1匹の雄獅子が細い弓の間を見事にくぐると、見物客から拍手が沸き起こりました。



鉄人レースにチャレンジ ～キッズトライアスロン～

水泳、自転車、マラソンの3種目を連続で行うトライアスロン。鉄人レースともいわれるこの競技に小学生が挑みました。

夏の残暑が厳しい8月26日、にしなすの運動公園でキッズトライアスロン教室が開催されました。元オリンピック選手の宇佐美彰朗さんや日本学生トライアスロン連合の選手たちがそれぞれの種目について子どもたちを指導。最後にミニレースを行い、子どもたちは練習の成果を試していました。

01

10月21日(土)・22日(日)に 那須野巻狩まつりを開催します

◆1日目◆ 大将鍋出陣式



- ◆とき 10月21日(土) 午前9時30分〜午後3時
◆ところ 那須塩原駅西口駅前広場
◆内容 大将鍋出陣式、巻狩鍋の販売、みこしパレード、巻狩太鼓、巻狩踊り、地元商店の出店 ほか

◆2日目◆ 本まつり



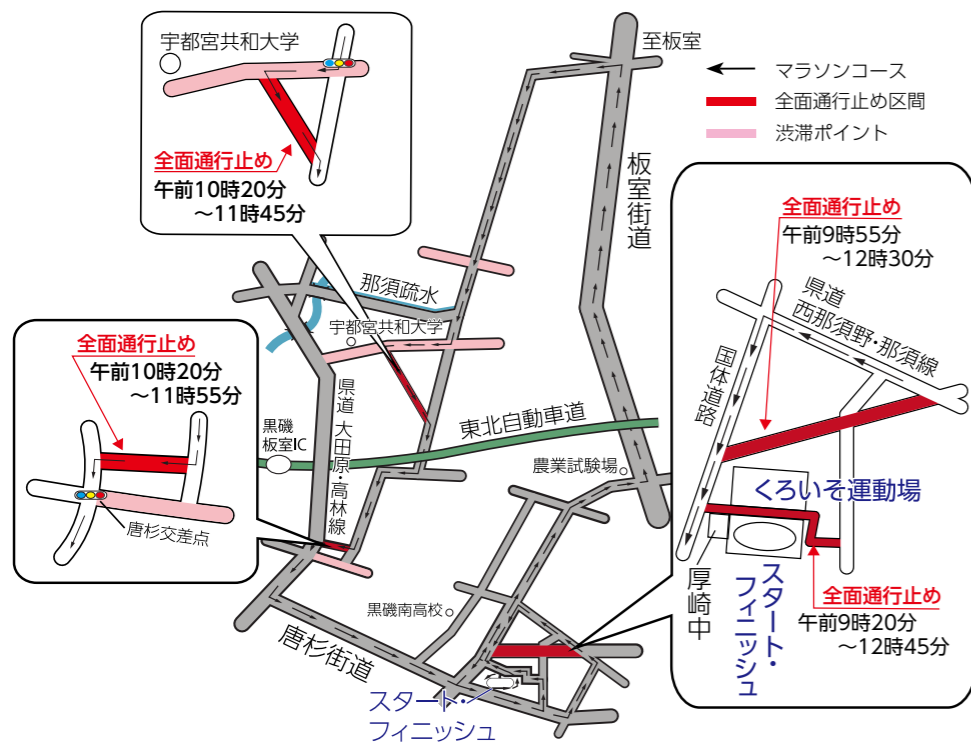
- ◆とき 10月22日(日) 午前9時〜午後3時
◆ところ 那珂川河畔運動公園
◆内容 巻狩鍋の販売(10種類)、巻狩踊り大会、巻狩ショー、太鼓の響演(黒磯巻狩太鼓、田島太鼓 龍巳会)、キンタロー。ライブステージ、キッズダンス(Dream Treasure)、苗木無料配布(ハナモモ500本)、ひたちなか市物産コーナー、物産企業フェア、パン&スイーツフェア ほか

02

11月3日(金) 那須塩原ハーフマラソン 交通規制に協力してください

ハーフマラソンは、市内道路をコースを使用するため、車両などの交通規制が行われます。ご不便をおかけしますが、理解と協力をお願いします。

- ◆とき 11月3日(金) 午前9時30分〜午後1時
◆内容 車両片側交互通行または全面通行止め
◆問い合わせ 国土スポーツ振興課 ☎0287(37)5439



特に唐杉交差点周辺、くろいそ運動場周辺は大変混雑するので、注意してください。場所や競技の状況により規制時間・内容が変わります。現場係員の指示に従ってください。

03

国内最大規模の観光キャンペーン みんなで一緒に盛り上げよう

今年の4月から6月にかけて開催されたプレステイネーションキャンペーン(丁R)が主導する国内最大級の観光キャンペーン(丁R)では、多くの観光客が訪れました。

本番の来年は、いちごとみるくフェアや朝食イッピン物語に加え、巻狩鍋フェアや利き酒フェアも新たに展開し、お客様の満足度の向上によるリピーターの獲得を目指します。

キャンペーンをきっかけに多くの観光客から選ばれる地域にするため、お宿・飲食店の皆さんの参画が鍵になります。フェアへの参画を希望する事業者は、市観光局まで問い合わせてください。

いちごとみるくフェア 名産品「牛乳と「いちご」を使ったデザートなどを提供します。

朝食イッピン物語 各お宿が自慢の朝食を提供し、最高の朝を演出します。

巻狩鍋フェア 那須塩原でしか味わえない郷土料理「巻狩鍋」を地元の食材を使って提供します。

利き酒フェア 栃木のきれいな土壌から造られるおいしい地酒を飲み比べで提供します。 申込期限 10月25日(水) 問い合わせ 市観光局 ☎0287(46)5326

Map showing parking areas and shuttle bus routes for the festival. Includes a table of parking spots and a note about free shuttle bus service on the 22nd.

みんな シャトルバスを使ってね!

※大将鍋出陣式、本まつりの開催に伴い、会場周辺で交通規制があります。 ※22日の本まつりでは、例年会場近くの駐車場が大変混み合います。 周辺駐車場から無料のシャトルバスが運行されるので、利用してください。 ※まつりの詳細については、市ホームページや新聞折込チラシなどで順次お知らせしていきます。

QR code and contact information for the festival. Includes a cartoon character and the text 'ほーむページはこちら!'.



お問い合わせ 那須野巻狩まつり実行委員会事務局(国土商工観光課内) ☎0287(62)7154



名人から技を学ぶ
～高林そばフェスタ高中～

9月10日、高林中学校で高林そばフェスタが行われました。1～3年生で班を編成し、学年の垣根を越えて各班協力しあいながらそば打ちを体験。毎年恒例の行事ということもあり、慣れている3年生は作業も早く1・2年生を先導するほどの頼もしさ。そば粉に水を加えて混ぜて合わせる加減や麺棒を使ってきれいに延ばすコツなど、地元のそば打ち名人から丁寧にアドバイスを受けていました。生徒たちが打ったそばは敬老会の招待者に振る舞われました。



リズムにあわせるって楽しいね
～塩原認定こども園 ドラムサークル～

塩原認定こども園で9月6日、輪になりリズムに合わせて打楽器の即興演奏をするドラムサークルが行われ、3～5歳の園児21人が参加しました。音楽を使った教育活動のサポートを行う講師の三原さん(写真中央)がリズムを先導すると、夢中で楽器を叩く園児。それまでバラバラだったリズムが同調することで一体感が生まれ、園児は音を合わせる楽しさを感じていました。この事業は、園児の表現力などを育むために、今年度市内の12園で行われる予定です。



慎重に…でも、急げ!
～小学校秋季運動会～

市内各地の小学校で9月16日に秋季運動会が開催されました。この時期にしては涼しい日でしたが、児童たちは元気いっぱい。校庭を所せましと駆け回りました。

関谷小学校でもこの日に運動会を開催。3・4年生の障害物競走では、カードに書かれた障害をクリアするのに悪戦苦闘する姿も。しかし、児童たちは家族の声援を一身に受けて懸命にゴールを目指していました。



10年間の感謝と決意新たに
～豊浦小 二分の一人式～

4年生は二十歳の成人まであと10年。その半分の節目に、親への感謝の気持ちや将来への決意を述べる「二分の一人式」が9月13日、豊浦小で行われました。4年児童62人が、日ごろ伝えられない思いを親の前で一人ひとり発表。「10年間育ててくれてありがとう。これからもよろしくお願いします」。感極まって涙しながら感謝の言葉を口にする児童の姿に、ハンカチで涙を拭う保護者の姿も見られました。目頭が熱くなる成人式でした。



05

**ごみの野外での焼却は
法律で禁止されています**

少しぐらいなら大丈夫だろうと、ごみを野外で焼却すると周辺は大迷惑。おいが洗濯物につくなどの苦情が多く寄せられています。野外焼却は法律で禁止されていて、違反すると五年以下の懲役もしくは一千万円以下の罰金またはこれらの併科に処せられます。家庭から出るごみは、ごみステーションに出すか、那須塩原クリーンセンターに持ち込むなど、決められた方法で処理してください。

▼問い合わせ

〇環境対策課 ☎0287(62)7144



04

12歳以下の世界少年野球大会で優勝
～市長特別賞を贈呈～

8月3～11日にアメリカで開催された「カル・リプケン12歳以下世界少年野球大会」に、日本代表チームの一員として出場し、見事優勝を果たした俵藤知憲さん(西那須野中1年)に市長特別賞が贈られました。受賞後に将来の目標を聞くと、「高校でも野球を続け、それからプロ野球選手になって、最終的にはメジャーリーガーになるのが夢です」と快活に答えてくれました。

▼問い合わせ

〇本秘書課 ☎0287(62)7108



07

あなたにしか救えない命があります
～10月は骨髄バンク推進月間～

白血病など治療の難しい血液疾患の患者さんにとって、骨髄移植は大きな希望です。ドナー登録は県北健康福祉センターで受け付けていますので、ドナー登録、骨髄・末梢神経細胞の提供に協力をお願いします。

また、市では4月1日から骨髄などの提供者やその人が勤務する事業所に対して奨励金を交付する制度を開始しました。詳細は問い合わせください。

▼問い合わせ

〇健康増進課 ☎0287(63)1100



06

まちの安全安心を守るために
郵便局と協定を締結

暮らしの安心感を高め、地域や関係機関との連携を強化するため、市と郵便局が9月1日に協定を締結しました。

▼連携して取り組む事項

- ① 包括連携 高齢者・障害者・子どもなどの見守り、道路の損傷や廃棄物の不法投棄を発見した際に市へ情報提供することなど
- ② 災害発生時における協力 緊急車両としての車両提供や災害情報の広報活動など

▼問い合わせ

〇企画政策課 ☎0287(62)7106

下水道ってどんなもの？

▶問い合わせ
西下水道課
☎0287(37)8479



皆さんは、下水道と言ったらどのようなイメージを思い浮かべますか。

トイレやお風呂、台所の使い終わった水が流れていて汚いイメージ？それとも、いつもどこかで工事をしているイメージですか？もしかしたら「下水道を使っているから分らない」という人もいます。

現在市内では、下水道が整備されている地域は約55%ですが、下水道を使用していない地域の皆さんにも関わることがたくさんあります。

このシリーズでは、下水道のしくみや制度、これからの下水道が皆さんの生活にどのように関わっていくのか、皆さんに知ってほしい下水道のことを6回に渡り紹介します。

下水道の役割としくみ

◆下水道の役割

「環境を守り、快適な暮らしのために」
下水道は、工場やお店、皆さんの生活の中から出た汚水を集めて、きれいな水に戻すことが役目です。汚水は、地中に埋められた下水道を通して集められているので、皆さんが普段目にすることはありません。



下水道のある生活

- 臭いや害虫を防ぎきれいなまちをつくれます
- 水洗トイレが普及し清潔で快適な環境をつくれます
- 本市の美しい自然環境を守ります

理する施設が無く、汚水そのまま道路の側溝や川に流したらどうなるか想像してみてください。街中には悪臭が満ち、蚊やハエなど多くの害虫が発生し、とても不潔で不快な暮らしになってしまいます。また、汚水が川に流れ込むと水質の汚れが進み、生き物がすめない川となってしまう。下水道は、快適で清潔な暮らしや、本市の美しい自然を守るために、大きな役割を果たしています。

本市の下水道の状況

◆どこで汚れた水をきれいにしているの(処理区域)

現在、市内で出た排水は3カ所の施設で処理をしています。黒磯市街地と板室・高林地区は、黒磯水処理センター。塩原温泉街

は、塩原水処理センターで処理しています。この2カ所は市の施設です。そして、東那須野地区、西那須野地区、関谷・接骨木地区の排水を処理しているのが、県の施設の北那須浄化センターです。

◆市内の下水道の整備状況とこれから

市内で整備されている下水道は、面積約2300ヘクタール、総延長約500km。市内の下水道管を全て一直線につなぐと、本市から神戸市までの距離に相当し、約6万5千人が下水道を使用することができま。

市の計画では、平成33年度までに7万4千人が下水道を使用できるように、新たに560ヘクタールの整備を進めていく予定です。



本市の下水道「普及率」

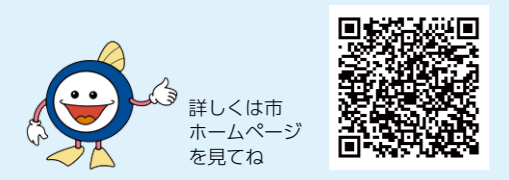
平成29年3月31日現在

普及率	行政区別		普及率(%)	
	人口(人)A	世帯(戸)B	人口(人)C	C/A
黒磯地区	61,643	14,462	34,135	55.4%
西那須野地区	48,767	11,585	26,714	54.8%
塩原地区	7,436	1,670	4,048	54.4%
合計	117,846	27,717	64,897	55.1%

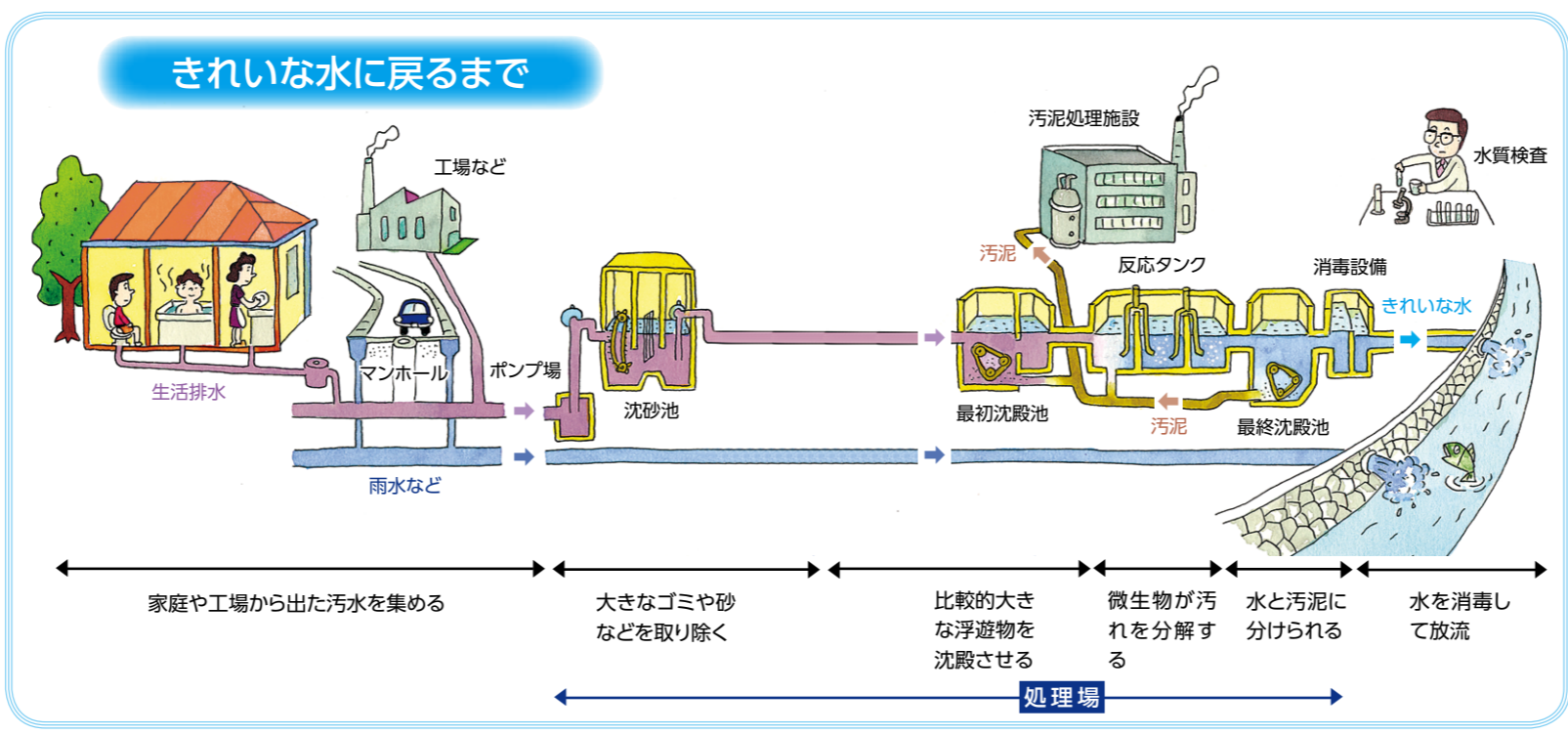
※下水道が整備されている地域で、すでに使用している人の割合(水洗化率)は、90.1%です。

下水道が力を発揮するには ～下水道への接続のお願い～

下水道は、整備しただけでは力を発揮できないんだ。みんなに使ってもらって、初めて力を発揮することができる施設なんだよ。現在、下水道は通っているけどまだ接続していない人や、下水道がつながっていない地域でも、今後下水道を使えるようになった時は早めに接続してね。



◆次回の「那須塩原市の下水道」は、下水道管やマンホールについてお知らせします。



◆どうやって汚れた水をきれいな水にするの？
汚水を下水道に流しただけでは水はきれいになりません。下水道は、汚水をきれいな水に戻す処理場へ運ぶための道路なのです。処理場へ着いた汚水は、ゴミを取り除いたあと、微生物により分解

※現在は、原子力発電所事故の影響で、汚泥は一部のみ有効活用されています。
解されて、水と汚泥に分けられます。水は、最終的に消毒してから川に放流します。汚泥は、主に県の資源化工場へ運ばれ、資源として再利用されています。



お便りBOX

皆さんからいただいたお便りを紹介します。
今後の広報誌づくりの参考にさせていただきます。
※今回の読者プレゼントはお休みします。いただいたハガキは次回の抽選で反映させていただきます。

◆いつも、表紙の写真の美しさに魅了されています。紙面のデザインも、色使いや文面の配置が素敵でセンスの良さを感じます。集団授乳イベントについて書かれた編集後記のコメントが好きでした！赤ちゃんのためにシャッターを切る青年の姿、目に浮かぶようです。赤ちゃんのために…。

◆子育ての特集を興味深く読ませていただきました。特に夫婦の形です。自分は2人の子どもの保育所に預けながら働き続けた期間は大変でした。今と違って当時は子育ては母親の役割というのが当然。ストレスは意外に子どもに対してではなく手伝わなければならない夫に対してです。結婚しても子どもが生まれても女性が生き生きと働き続けられるよう、社会でも家庭内でも前進していつてほしいですね。

◆子育ての特集を読んで、子育ては大変ですが、恵まれていることも知りました。支援センターが皆さんをサポートしてくれています。色々な会があり赤

- Q. あなたが好きなコーナーはどれですか？(複数可)
1. 表紙
 2. 特集
 3. 行政 info
 4. タウントピックス
 5. 子育て連絡帳
 6. チャイルドトピックス
 7. 健康だより
 8. 図書館へ行こう！
 9. お便りBOX
 10. なすしおばら珍百景
 11. ちっちゃな自然
 12. 編集後記
 13. げんきびと
 14. ものづくり若人
 15. 私のまちの近い遺産

広報なすしおばらを読んだ感想、取り上げて欲しい話題や記事などをお書きください。

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

※いただいたご意見は、内容を変えない範囲で添削させていただく場合があります。
※紙面の都合上、掲載できない場合がありますのであらかじめご了承ください。

◆子育ての特集を興味深く読ませていただきました。特に夫婦の形です。自分は2人の子どもの保育所に預けながら働き続けた期間は大変でした。今と違って当時は子育ては母親の役割というのが当然。ストレスは意外に子どもに対してではなく手伝わなければならない夫に対してです。結婚しても子どもが生まれても女性が生き生きと働き続けられるよう、社会でも家庭内でも前進していつてほしいですね。

◆子育ての特集を興味深く読ませていただきました。特に夫婦の形です。自分は2人の子どもの保育所に預けながら働き続けた期間は大変でした。今と違って当時は子育ては母親の役割というのが当然。ストレスは意外に子どもに対してではなく手伝わなければならない夫に対してです。結婚しても子どもが生まれても女性が生き生きと働き続けられるよう、社会でも家庭内でも前進していつてほしいですね。

◆子育ての特集を興味深く読ませていただきました。特に夫婦の形です。自分は2人の子どもの保育所に預けながら働き続けた期間は大変でした。今と違って当時は子育ては母親の役割というのが当然。ストレスは意外に子どもに対してではなく手伝わなければならない夫に対してです。結婚しても子どもが生まれても女性が生き生きと働き続けられるよう、社会でも家庭内でも前進していつてほしいですね。

◆子育ての特集を興味深く読ませていただきました。特に夫婦の形です。自分は2人の子どもの保育所に預けながら働き続けた期間は大変でした。今と違って当時は子育ては母親の役割というのが当然。ストレスは意外に子どもに対してではなく手伝わなければならない夫に対してです。結婚しても子どもが生まれても女性が生き生きと働き続けられるよう、社会でも家庭内でも前進していつてほしいですね。

図書館 HP



図書館へ行こう！

読書・スポーツ・食欲……の秋です。
秋を楽しむ知恵や情報が詰まったたくさんのお待ちしています。



NEW!



『キレイの秘密、「豆」生活。』
著:福谷 正男 幻冬舎
「豆」を食べるとキレイになる?!
この本を読むと、美容と健康にいい豆の秘密がわかります。豆の力を知り、豆のレシピを習って、毎日の食事に少しずつ豆を…。
今日から「豆」が食べなくなる本



『家族のあしあと』
著:椎名 誠 集英社
食卓を囲み、家族みんなで笑い合った黄金の日々――。少年の成長を通して、戦後日本の風景があざやかに蘇ります。「岳物語」につながる、著者の自伝的小説シリーズ最新作。謎多き大家族の物語。懐かしい昭和の少年時代

『日本百名山クルマで行くベストプラン』



JTBパブリッシング
クルマを使って日本百名山を目指す人のための最適ガイド。アクセスプランや駐車場情報、登山ルートなどが、地図やチャートで紹介されています。温泉・道の駅など下山後の寄り道情報があるのもうれしい。紅葉ドライブのおともに



『あたりかも』
作・絵:きたじま ごうき PHP研究所
アイスを食べて出てきたのは、「あたり」じゃなくて、なんと、「あたりかも」。これって「あたり」？「あたり」じゃない？「アイスおうこく」へたしかめに行ってみよう！暑くなくてもやっぱりアイス！



『ふしぎな銀の木』
再話・絵:シビル・ウェットシンハ 福音館書店
3人の王子たちは、王さまの夢に出てきた不思議な銀の木を探し出すよう命じられます。夢に出てきた木を持ち帰るなんて、本当にできるのでしょうか？
色鮮やかな絵が印象的な、スリランカの昔話絵本



『零戦パイロットからの遺言 原田要が空から見た戦争』
著:半田 滋 講談社
昭和8年、自ら志願して軍隊に入りやがて零戦パイロットとなった原田さん。それが、後に「戦争を憎む」と言い切るまでになった実体験をまとめた本です。今こそ「語り部」の言葉に耳を傾けたい

イベント情報

子どもたちの作品に投票してみませんか
この本よんでみて！コンテスト2017 本の紹介カードの投票審査
小・中学生に読書への関心を高めてもらい、家庭での読書をすすめるために毎年開催しているコンテストです。一次審査を通過した「本の紹介カード」への一般投票を行い、結果は入賞作品の選定に反映します。心ひかれた作品に投票してみませんか？
▶とき・ところ (全て11月)
11日(土)・12日(日) なしお博会場(宇都宮共和大学那須キャンパス)
17日(金)～26日(日) 西那須野・塩原図書館
21日(火)～26日(日) 黒磯図書館
▶参加費 無料 ▶問い合わせ 西那須野図書館

▶問い合わせ 西那須野図書館 ☎(36)6001 黒磯図書館 ☎(63)9031 塩原図書館 ☎(48)7521

蔵書点検に伴う 黒磯図書館 特別休館のお知らせ

10月16日(月)～19日(木)
休館中の本の返却は、正面玄関脇のブックポストを利用してください。なお、CD・DVDや他の図書館から借りた資料は、開館日にカウンターに返却してください。

ちっちゃな自然
みつけた

NO. 150

美しきハンター
ハンミョウ



ハンミョウ 撮影日時:2012.7.4 10:44 撮影場所:那須塩原市中塩原

ハンミョウって

体長は2cm程度。成虫は5月から10月にかけて見られる。農家の庭先や神社の参道など、踏み固められた土の環境を好む。以前は普通に見られたが、近年は減少しつつあることから、那須塩原市レッドリストに選定されている。



ニワハンミョウの幼虫

日本一美しい昆虫といえば、玉虫厨子で有名なヤマトタムシを思い浮かべる人が多いと思います。しかし、模様の美しさではハンミョウこそ日本一といえるでしょう。翅はビロード状の光沢をもち、青や緑、オレンジなどカラフルな斑紋で彩られ、とても鮮やかです。
ハンミョウは別名「道教え」とも呼ばれます。人が近付くと軽やかに飛び立って数m先に着地して振り返ります。これを繰り返す様子が道を教えているように見えることから名付けられました。
そう聞くとどこか可愛らしく感じますが、素性はどう猛なハンターです。日中、陽の当たる開けた地面で待ち伏せし、アリなどの小さな昆虫を見つけたとすばやく飛び立ち捕まえます。幼虫は、地中に縦穴の巣を掘って待ち伏せし、獲物が近くを通りかかると、巣穴から身を乗り出して噛みつき、引きずり込むのです。
昔はこのあたりに「ニラムシ釣り」という遊びがあったそうです。幼虫の巣穴にニラの葉を指し込むと、じやまな葉をどかそうと幼虫が噛みつきまします。その瞬間にスッと引き上げると幼虫が釣れるという遊びです。以前、知人にやり方を教わって何度か試してみましたが、残念ながら釣ることはできませんでした。
昔の子どもは、こうした遊びを通して、生き物を観察する眼が自然と養われたのです。

じゅんじ

編集後記

9月をもって広報担当を卒業することになりました。担当となってからの3年半。ネタの収集でまちを飛び回り、写真を撮ったり話を伺った日々を思い出します。政策の話題、まちに転がる魅力、魅力をも作り出す人々…そうしたものがより多くの方に届くよう、広報なすしおばらがさらに親しまれるものになることを祈っています。正直、担当になる前は隅々まで読むことがなかった行政広報誌。これからは1人のファンとして見守っていきます。(小林)

初めて特集を担当しました。この1カ月は寝ても覚めても、頭の中は広報誌のことでいっぱい…。思うような文章が全然書けなくて、レイアウトも上手にできなくて、写真もうまく撮れなくて、数え切れないくらい壁にぶち当たりました。でも、取材先では皆さんが快くインタビューを受けてくださり感謝しています。おまけに採れたての野菜や果物、お米を分けてくださり、栄養満点の食事が取れたので頑張れたのだと思います。広報係の先輩方にも、次回はもっと成長した姿を見せられるように頑張りたいと思います(生駒)

なすしおばら
珍百景

あなたの"珍"を募集中

《応募方法》

方法① きらきらホット
なすしおばらに投稿
珍百景投稿用フォームに
必要事項を入力。



方法② シティプロモーション課に電話
☎(62)7109

●必要事項

住所、氏名(ペンネーム)、電話番号、年齢、性別、珍百景写真、タイトル、撮影日、コメント(100字程度)

●注意点

※人権侵害、政治・宗教活動、意見広告や宣伝につながるものなど、掲載できない内容があります。
※内容を変えない範囲で添削する場合があります。
※被写体の人物または所有者などに許可を得てから応募してください。
※インターネットなどからの転載はご遠慮ください。
※応募いただいた写真は市の情報発信活動に使わせていただく場合があります。

半分このコスモス



投稿者 masako.m さん (40代女性 豊浦中町)
撮影場所 那珂川河畔公園 (撮影日 H29.9)

那珂川河畔公園の沿道に花の色が半分このコスモスが咲いていました。初めて見るコスモスに驚きと嬉しさが半分ずつです。

3 2 5 8 5 0 1

お手数ですが
62円切手を
貼ってください

那須塩原市役所
シティプロモーション課
「広報なすしおばら係」行

ご住所

那須塩原市

※掲載する場合は実名ではなく、イニシャルまたはペンネームで掲載します。

フリガナ ペンネーム
お名前 (希望者のみ)

☎電話

年齢 歳 性別 男 女

読者プレゼントに応募しない場合は☑をいれる 応募しない

行政情報アプリ「広報紙」が「マチイロ」としてリニューアル!
まちを好きになるアプリ
マチイロ
自治体がもっと身近になる機能が盛りだくさん!
1 役立つ行政情報を見逃さない!
2 自分に合わせた情報が届く!
3 いろいろなマチの魅力をお届け!
ダウンロードはこちらから
※「広報紙」をご利用の場合、アップデートによって新アプリに切り替わりますので、新たにダウンロードする必要はありません。 ※アプリの使用は無料ですが、通信費は各回線ごとのご負担となります。 ※広告が表示されますが、各自治体とは何ら関係ありません。
マチイロに関する問い合わせは株式会社ホープ(092-716-1404)まで



キガンビの花



槻沢小の大モミジ

私のまちの
近い
世界遺産

那須野が原の歴史を見守り一世紀…

文化財も生きている

市内には、その豊かな自然を象徴する30種もの天然記念物が点在しています。幾世代もの人々を見守ってきた樹木、レッドデータブックに載っている動植物など、どれも貴重なもの。今回は、意外と知られていない、身近な天然記念物を紹介します。

Topic

えっ、本当は食べられるの!?

○本郷町のケンボナシ

秋になると、果実の根本にある果柄かへいと呼ばれる部分が膨らんできます。この果柄は食べることができ、かじると梨のように甘いとか。

○ノギカワモズク

モズクの名のとおり、食べることができます。見た目はモズクにそっくりですが、ワカメの仲間であるモズクに対し、ノギカワモズクはテングサの仲間です。

○北和田のカヤ

市内に現存する最大のカヤの木です。カヤの木は碁盤や将棋盤として使用されているほか、果実からとれる油は食用や灯火用として利用されています。また、種子はアクを抜くと食べられるようになります。山梨県には、カヤの実を使った郷土食「かやあめ」があります。

※どれも大切な文化財なので、実際に食べてはいけません。

市指定の大山参道のモミジ並木は紅葉スポットとして有名ですが、そこからそう遠くない所に、槻沢小学校の敷地内に、文化財に指定されているモミジがあることを知っていますか？

明治末期（1910年前後）に、卒業記念として植えられたこのモミジは、今では目通り幹周2.5mもの巨木になっていて、秋には見事な紅葉を見せてくれます。昭和54年の学校移転の際も、学校とともに今の地に移され、100年以上も児童たちを見守ってきました。

同じ西那須野地区の大山小学校

にも、キガンビという天然記念物があります。近畿以西の温暖な地域に自生する植物で、8〜10月に黄色い小さな花が咲きますが、冷涼な那須塩原で見られることは大変貴重で、分布地の北限と言えるかもしれません。

なぜこの地にキガンビがあるのかは諸説あり、大山墓所を作るために大山巖の郷土の樹木や土を運んだ際、その土中にキガンビの種子が混じっていて、それが育ったとも言われています。

このようなところにも、開拓の歴史が根付いているのですね。